

成果報告書

I. 研究概要

氏名	ツルバートル オノン
所属	モンゴル国立大学
招聘回（招聘期間）	第8回、2013年10月1日～2014年3月31日
招聘研究テーマ	日本語の慣用句における文化的解釈
研究目的	本研究は、モンゴル人日本語学習者にとって正しい理解と的確な使用が困難となっている日本語の慣用句に対する文化的解釈を行い、その慣用句が必然的に持っている日本人の知恵・経験・思考様式を明らかにすることを目的とするものである。
<p>研究概要： 本研究による教材の概要は以下の通りである。</p> <p>1. 慣用句</p> <ul style="list-style-type: none">1.1 感情を表す慣用句1.2 性格を表す慣用句1.3 行動を表す慣用句1.4 生活を表す慣用句1.5 価値観を表す慣用句 <p>2. 例文</p> <p>3. 解釈</p> <p>第1章の「慣用句」はデータベースのところとなっており、今回の6ヵ月間に先行文献、インタビュー等を通して収集したすべての慣用句（1300句）を内容によって5つに分け、その翻訳を行った。</p> <p>第2章の「例文」のところでは、その慣用句は実際、文章・会話などでどのように使われているのか、用例として挙げる文をアルファベット順に翻訳付きで取り入れた。</p> <p>第3章の「解釈」のところは、慣用句の裏にある日本の文化、生活習慣や歴史に関する知識を与え、紹介するところで、翻訳した慣用句のうち、モンゴル人学習者にとって興味深いと思われる慣用句（100句）を選択し、解釈を行った。</p>	
<p>展望： 本研究によって収集し、解釈を行った慣用句をもとに、教材開発を行い、その教材を自分の授業で実際に使ってみて、問題点を修正し、内容を補完する。</p>	